

平成26年11月28日（金）
国土交通省関東地方整備局

記者発表資料

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成26年度第6回）の開催結果について

関東地方整備局では、平成26年11月27日に、公共事業の効率性及びその実施過程の透明性の一層の向上を図るため、事業評価監視委員会を開催しましたので、審議結果をお知らせします。

審議の結果、11件が対応方針（原案）のとおり了承されました。

なお、議事概要は、別紙のとおりです。

※配付資料については、関東地方整備局ホームページでご覧下さい。

関東地方整備局ホームページ(<http://www.ktr.mlit.go.jp/>) →募集・情報公開→公共事業の評価

URLダイレクト入力の場合 <http://www.ktr.mlit.go.jp/shihon/index00000018.html>

発表記者クラブ

竹芝記者クラブ、埼玉県政記者クラブ、神奈川建設記者会、
茨城県政記者クラブ、栃木県政記者クラブ、都庁記者クラブ、
神奈川県政記者クラブ、長野県庁会見場、長野市政記者クラブ、
長野市政記者会、横浜海事記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 TEL. 048-601-3151（代表）

企画部技術企画官 まつやま松山 おさむ治（内線3126）

企画部 企画課 課長補佐 たかはし高橋 いわお岩夫（内線3153）

(別紙)

関東地方整備局事業評価監視委員会（平成26年度第6回）

議事概要

1. 日 時 平成26年11月27日（木）16:00～18:00
2. 場 所 横浜第二合同庁舎13階 「131・132会議室」
3. 出席者

[委員長]

家田 仁（東京大学・政策研究大学院大学教授）

[委員]

朝香 博（東京商工会議所地域振興部長）
大野 栄治（名城大学都市情報学部教授）
楓 千里（(株)JTBパブリッシング 執行役員ソリューション事業本部副本部長）
加藤 一誠（日本大学経済学部教授）
蟹澤 宏剛（芝浦工業大学工学部建築工学科教授）
佐々木 淳（東京大学大学院新領域創成科学研究科教授）
清水 義彦（群馬大学理工学研究院教授）
鈴木 誠（東京農業大学地域環境科学部造園科学科教授）
若松 加寿江（関東学院大学理工学部教授）

（敬称略、五十音順）

[関東地方整備局]

副局長 下司、副局長 藤井、企画部長 五道、建政部長 上野、
河川部長 泊、港湾空港部長 松永、道路企画官 山田 他

4. 議事概要

(1) 挨拶

- ・ 関東地方整備局長

(2) 審議

1) 再評価対象事業の概要説明

- ・ 河川事業 3 件、道路事業 4 件、港湾事業 2 件、公園事業 2 件の概要説明。

2) 審議

- ・ 事務局より説明された再評価対応方針（原案）は、11 件を対応方針（原案）のとおり、了承する。

<評価対象事業>

事業名	重点案件	事業箇所名	事業主体	対応方針 (原案)	審議結果
河川		利根川総合水系環境整備事業(中川・綾瀬川環境整備)	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		利根川総合水系環境整備事業(渡良瀬川環境整備)	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		鶴見川総合水系環境整備事業(鶴見川環境整備)	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
道路		一般国道 6 号 新宿拡幅	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		一般国道 14 号 両国拡幅	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		一般国道 19 号 松本拡幅	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		一般国道 158 号 松本波田道路	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
港湾		茨城港常陸那珂港区外港地区国際海上コンテナターミナル等整備事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
	○	東京港中央防波堤外側地区国際海上コンテナターミナル整備事業	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
公園		国営常陸海浜公園	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承
		国営昭和記念公園	関東地方整備局	継続	対応方針(原案)のとおり了承

○：特に重点的な審議を要する案件として選定された事業